

Japanese Language
Scholarship Foundation
3127 Nichols Canyon Road
Los Angeles, CA 90046
Tel: 323.882.6545
Fax: 323.969.9425
E-mail: AuroraFoundation@usa.net
Website: www.ilsf-aurora.org



第一回オーロラ基金主催 米国高校生日本語スピーチコンテスト全米大会

プレスリリース

第一回米国高校生日本語スピーチコンテスト全米大会が5月22日（土）アーバイン市にある日立ケミカル・リサーチセンター（カリフォルニア大学アーバイン校内）に於いて開催された。

主催はオーロラ基金（日本語奨学基金、代表 阿岸明子）共催ならびに後援全米日本語教師会、在ロサンゼルス日本国総領事館、国際交流基金等による。

コンテスト出場者は昨年の4月から今年3月までの一年間に全米各地区で行われた日本語スピーチコンテストの上位入賞者から選ばれた人たちである。今回は11名が参加。

遠隔地からの参加者はオレンジカウンティ在住の日本人家庭にホームステイ、大会前日、アーバイン・ヤマハ・ミュージックセンターで行われたウェルカムパーティーでは、出場者の他にホストファミリーも参加、出場者の紹介、相互交流、日本の歌の合唱やヤマハ音楽教室の生徒さんによるピアノ、エレクトーンの演奏を楽しんだ。

コンテストは午後一時から行われスピーチ5分以内、引き続き審査員によるインタビューが行われ審査員6名（審査委員長、片岡裕子カリフォルニア州立大学ロングビーチ校教授）の厳正な審査によって優勝者が決定された。

最優秀賞にはテキサス州ウッドランズ高校のスティーブン・カミンズさんが選ばれた。カミンズさんには在ロサンゼルス日本国総領事館からトロフィーとオーロラ基金からの奨学金500ドルが贈られた。カミンズさんは本年7月26日に東京で開かれる「第九回海外高校生による日本語スピーチコンテスト国際大会」に米国代表として出場することになる。

優秀賞にはニューヨーク州クラークストン・サウス高校のスタウム・レーチェルさん、優良賞にはカリフォルニア州クレセント・バレー高校のマクニール・デビッドさんが選ばれトロフィー、プラークと共にオーロラ基金からの奨学金300ドル、200ドルが贈られた。

コンテスト終了後、カリフォルニア大学アーバイン校（UCI）クロスカルチャーセンターでグッドウィルパーティーが開かれUCI学生のボランティアによる和太鼓演奏、着物試着、カルタ遊び、さらに昨年度のチャレンジグラント受賞者のニコラ・ギルバートさんによるにぎり寿司のデモンストレーションといった日本文化を楽しんだ。

第一回米国高校生日本語スピーチコンテスト全米大会 結果発表（受賞者名、出身校、州、スピーチのタイトル）：

最優秀賞 Consul General of Japan Award (Trophy)
Steven Kummins カミンズ スティーブン The Woodlands High School (TX)

「食べ物オンパレード」

奨学金 \$500

更に東京でおこなわれるNPO法人エデュケーション

ガーディアンシップグループ (E.G.G.) で日本語スピーチコンテスト (JSA) 主催、*「第9回海外高校生による日本語スピーチコンテスト/異文化交流プログラム」に米国代表として出場することになる。

優秀賞 Yamaha Cup Award (Trophy)
Rachel Staum スタウム レーチェル、 Clarkstown South High School (NY)

「そふぼといっしょに」

奨学金 \$300

優良賞 Union Bank of California Award (Plaque)
David McNeill マクニール デビッド、 Crescenta Valley High School (CA)

「過去をくりかえさない」

奨学金 \$200

当スピーチコンテスト参加者全員に次のギフトが送られました。

パナソニック提供： ボイスレコーダー

UTB提供： マグカップ

タカギ・アットハウス提供： Tシャツ

国際交流基金ロサンゼルスオフィス： お楽しみギフト

日米協会： 賞状

また3位以下の出場者には各アサヒホームキャスト、JETRO ロサンゼルス、マルカイ、ライトハウス、JC CSCからプラーク、JBA、JAL、UCIからギフトが贈呈された。